

STAN シリーズ *Web* 認証版

スタートアップガイド

2014年1月7日

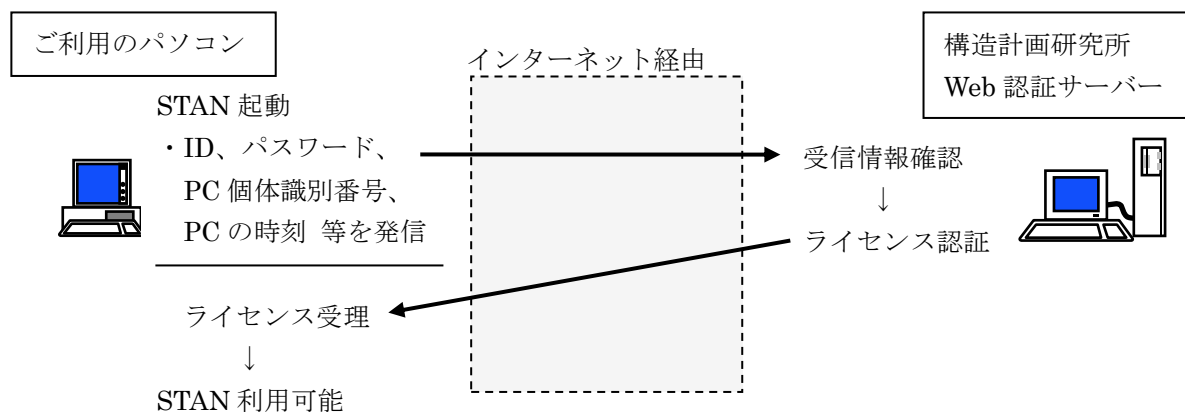
 **構造計画研究所**
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

目 次

1. Web 認証版とは.....	2
2. Web 認証版の「使用許諾契約」に関しまして.....	3
3. Web 認証版の納品物.....	4
3.1. 納品時のメールの内容.....	4
4. まずは Web 認証版を起動してみましょう.....	5
4.1. 最初の起動手順.....	5
4.2. ライセンスの解放.....	6
4.3. 2回目以降の STAN の起動.....	6
4.4. ライセンスが認証されない場合.....	6
5. Web 認証版のライセンスを管理するサイト.....	7
5.1. ライセンス管理.....	8
5.1.1. この管理サイト内での操作について.....	10
5.1.2. この管理サイトからのログアウトについて.....	10
5.2. 利用者管理.....	11
5.2.1. 利用者種別について.....	13
5.2.2. 利用者の追加方法.....	14
5.3. 使用ライセンス管理.....	16
6. 当日限定ライセンスの利用方法.....	18
6.1. 当日限定ライセンスの利用方法.....	19
7. 緊急用ライセンスの利用方法.....	21
7.1. 緊急解除コードの保管方法.....	22
7.2. 緊急解除コードの利用方法.....	24

1. Web 認証版とは

- STAN シリーズでは、Ver.10.5 よりライセンスの認証方法を、ハードウェア・ロック（USB）方式から Web 認証方式に変えました。
旧方式では、ハードウェア・ロック(USB) の装着されたパソコンが、装着された USB からライセンスを認証され STAN が起動していましたが、Web 認証方式では、インターネットを介し「構造計画研究所 Web 認証サーバー」よりライセンスが認証され、STAN が起動する仕組みになります。
- STAN (Ver.10.5) より、STAN シリーズは Web 認証版のみの販売となりました。以前のバージョンより STAN シリーズの動作環境には「通信可能なインターネット環境」が条件になっておりましたが、これは HELP の表示やユーザサポートにおいての利用条件でした。STAN (Ver.10.5) からは、この動作環境が必須になります。STAN は、通信可能なインターネット環境が無いパソコンではご利用になれません。
(常時接続が必要になります。)
- Web 認証版では、下図のような過程を経てライセンスが認証され STAN が起動します。
ただし、通常のご利用におきましては、これらの過程は表面には出ませんので、ご利用者はこの間のやり取りを意識することなく STAN を起動できます。



2. Web 認証版の「使用許諾契約」に関しまして

・STAN をインストールされる過程の中で「使用許諾契約」にご同意いただく場面があります。この内容にご同意いただかないとインストールが進まないようになっております。内容をご確認の上、操作を進めていただきたくお願い致します。

※ ご同意いただけない場合、STAN シリーズはご利用にはなれません。

・「使用許諾契約書」の内容に関しましては、従来のバージョンより大きな相違は無いのですが、Web 認証方式を採用したバージョンより、この方式に特有の記載がございます。その部分に関しまして下記に詳細を説明しております。特にご確認の上、インストールを進めていただきたくお願い致します。

— 重要 —

STAN シリーズ__Web 認証版 をご利用の場合、以下に記載の件をご了承いただく必要があります。ご了承いただけない場合、STAN シリーズ はご利用になれません。

1. STAN のプログラムはライセンスを認証する際、利用者のライセンスを識別するために次の情報をインターネット経由で「構造計画研究所 Web 認証サーバー」に送信します。STAN をご利用の場合、以下の情報の送信をご了承いただく必要があります。

- ① STAN シリーズの ID (ライセンスコード、利用者コード) と製品構成
- ② PC の個体識別番号 (ハードウェアの個体番号等より自動生成)
- ③ プログラムを起動&終了した時間 (パソコン内の時計での時刻) と利用オプション情報

2. Web 認証版のユーザ様の情報は、ライセンスを発行する「構造計画研究所 Web 認証サーバー」内で管理されますことをご了承いただく必要があります。
構造計画研究所は「構造計画研究所 Web 認証サーバー」に対し、社会一般に妥当と認められるセキュリティー保護措置を講じるものとしますが、当該措置を破るハッキング行為は、不可抗力と解釈されるものとします。

ご参考：「構造計画研究所 Web 認証サーバー」で保管される個人情報、会社名・部署名・担当者名・利用者名 (複数登録可能)・各人の E-メールアドレス になります。

ライセンス特有の情報としましては、ライセンスコード・利用者コード・ライセンスの利用履歴 (ライセンス取得時間、ライセンス解放時間、利用オプション) になります。

万が一のハッキング行為等があった場合でもこれら項目以外の情報流出はありません。

3. Web 認証版の納品物

- ・ STAN シリーズ Web 認証版をご購入いただきました場合、納品は認証に必要な各コードのメールでの通知のみとなります。メール通知をもちまして納品にかえさせていただきます。
- ・ STAN シリーズ Web 認証版には物品の納品はありません。インストールに関しましては、STAN_Web サイトからインストール・プログラムをダウンロードして、インストールをお願い致します。

3.1. 納品時のメールの内容

① **KKE ライセンス管理サイトのアドレス および ID とパスワード :**

⇒ 「構造計画研究所 Web 認証サーバー」には Web 認証をご利用のユーザ様 専用の領域が設けられます。その領域へログインするための ID とパスワードです。このサイトでは Web 認証の登録情報の確認や変更、利用者の追加、現在のライセンスの利用状況が確認できます。ID とパスワードが外部に知れ渡りますと、ご購入のライセンスが勝手に利用されてしまいます。厳重管理をお願い致します。

② **ライセンスコード :**

⇒ ご購入の製品に付けられるコードになります。このコードにより、該当製品が利用可能になります。当コード内には、ご購入のオプション構成やライセンス数の情報が含まれています。同一製品であれば、複数ライセンスであってもコードは一つになります。ご利用時の最初のキーになりますので、当コードは外部に知られないよう、管理をお願い致します。

③ **利用者コード :**

⇒ 利用者個人に割り当てられるコードです。ライセンスの利用者を特定するためのコードです。利用者コードはユーザ側の操作で、何人でも増やすことができます。納品時には最初の管理者の方のコードが通知されます。関連付けられた②と③のコードにて、STAN が利用可能になります。当コードに関しましても外部に知られないよう、管理をお願い致します。

※ ①の情報で「Web 認証管理サイト」にログインできれば ②と③の情報は入手できますので、①のみのお知らせで問題無いのですが、最初の起動に関しましてはスムーズなご確認をしていただくために、あえて一緒に通知させていただきます。

4. まずは Web 認証版を起動してみましょう

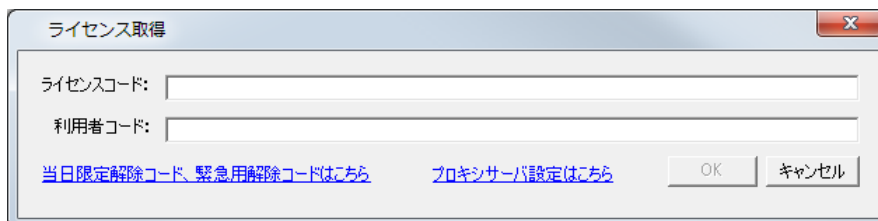
動作の確認は、STAN シリーズのプログラムをインストールしたパソコンで行ってください。また、パソコンはインターネット環境に常時接続されている必要があります。

インストールに関しましては、STAN_Web サイト（ <http://www4.kke.co.jp/stan/index.htm> ）をご参照ください。STAN シリーズにはインストールCDは存在しません。インストールは上記サイトよりダウンロードしたファイルよりインストールを実行してください。

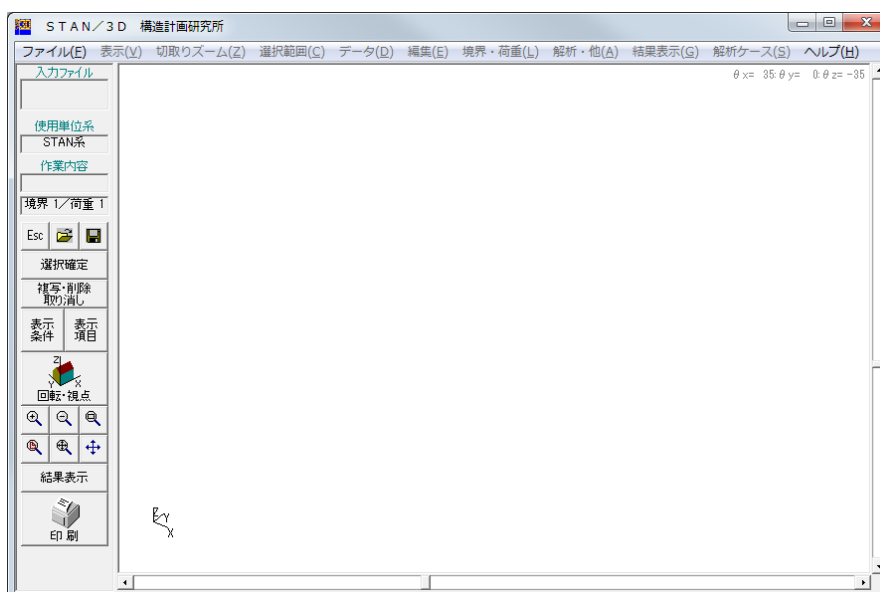
併せて、STAN の納品で受理されましたメールを表示しておいてください。以降の操作では、メールに記載されている各コードの コピー&ペースト を行います。

4.1. 最初の起動手順

- ・インストールした STAN を立ち上げます。Windows スタートメニューより、
【スタート】⇒【全てのプログラム】⇒【STAN-V105】⇒【STAN-V105】 と選択します。
最初の起動時、下図のウィンドウが表示されます。



- ・STAN の納品で受理されましたメールに記載されている。「ライセンスコード」&「利用者コード」を上記の項目に コピー&ペースト して、[OK] をクリックします。
- ・下図の画面が表示されましたら 認証成功です。そのまま STAN シリーズをご利用になれます。



4.2. ライセンスの解放

- ・そのまま STAN を終了すればライセンスは解放されます。(ライセンスは Web 認証サーバーに戻ります。) プルダウン・メニューより、[ファイル] → [STAN/3D 終了] もしくは、画面右上の [×] ボタンをクリック。

4.3. 2回目以降の STAN の起動

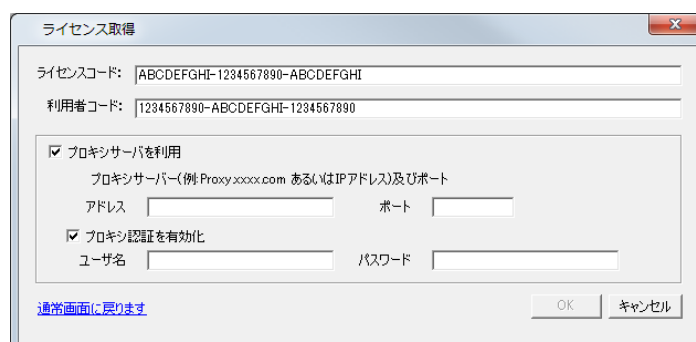
- ・最初に入力された「ライセンスコード」 & 「利用者コード」は STAN のプログラム内に保存されます。2回目以降は自動的に同じコードで認証を行いますので、コードを入力する画面は表示されずに、STAN の画面が立ち上がります。立ち上がればライセンスの認証は成功です。(Web 認証サーバーのライセンスは消費されています。)

4.4. ライセンスが認証されない場合

- ・STAN を起動しても何らかの原因でライセンスが取得できない場合、2回目以降の起動であっても以下の画面が出ます。(既に入力されているコードが表示された状態になります。)



- ・他の利用者がライセンスを別の場所で利用していて、所有ライセンス数を消費しきっていないかの確認をお願いします。
- ・コードの転記ミスの可能性もあります。コードを再確認していただきまして、コピー&ペーストをお願いします。
- ・プロキシサーバ経由でインターネット接続されている場合、リンク「プロキシサーバ設定はこちら」をクリックして、表示される以下のダイアログにプロキシサーバ接続情報を設定し、再度ライセンス取得できるかご確認ください。



- ・コードが正しく、原因が特定できない場合、メッセージをお控えいただきまして、構造計画研究所 サポート係り (E-mail: stan@kke.co.jp) までお問い合わせください。

5. Web 認証版のライセンスを管理するサイト

次に、Web 認証版のライセンスを管理するサイトに入ってみましょう。このサイトではライセンス自体の情報の表示、利用者の追加、現在の利用状況の確認が行えます。

STAN の納品で受理されましたメールには、管理サイトのアドレスが記載されています。そのアドレスをクリックしてください。サイトのログイン画面が、パソコンの標準ブラウザで表示されます。

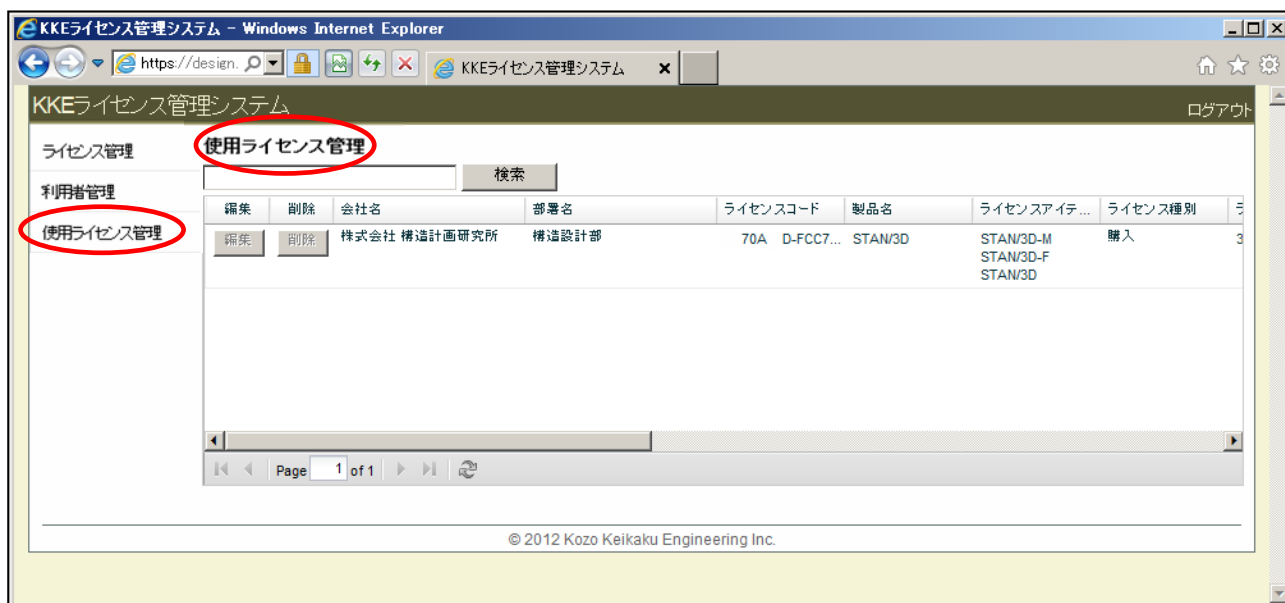


STAN の納品で受理されましたメールには、同サイトの「ログイン ID」と「パスワード」が記載されています。この二つをログイン画面に入力して [ログイン] ボタンをクリックしてください。

- ※ 「ログイン ID」と「パスワード」は各ユーザ様 固有の領域にログインするためのものです。2つの情報は外部に知られないように厳重管理をお願いします。
- ※ STAN の納品で受理されたメールで通知された「ログイン ID」と「パスワード」は納品時に暫定的に決められた値です。ログイン後の画面で変更が可能です。
- ※ 当管理サイトは、Web 認証版のご利用におきましては頻繁にログインされると思います。「お気に入り」への ご登録をお勧めします。

5.1. ライセンス管理

- ・ログインすると、最初に表示される画面は「ライセンス管理」の画面になります。(下図)
ここでは、お持ちのライセンスの内容が表示されます。
- ・ご購入後、最初にログインされましたら、ご購入のライセンス情報をご確認ください。
- ・STAN シリーズをご購入の場合、製品名「STAN/3D」の1行が表示されていると思います。この行にはオプションの構成や、ライセンス数も記載されています。
- ・通常は同じ製品名であれば、何ライセンスお持ちでも一つの行に集約されます。何らかの理由により2つの製品に分けた場合、2行に分けて表示されます。
- ・構造計画研究所 の他の製品 (Web 認証版) もここに表示されます。



- ・「ライセンス管理」では以下の情報をご確認いただけます。なお、ライセンス情報は ユーザ側では編集できません。変更が必要な場合、構造計画研究所までお知らせください。

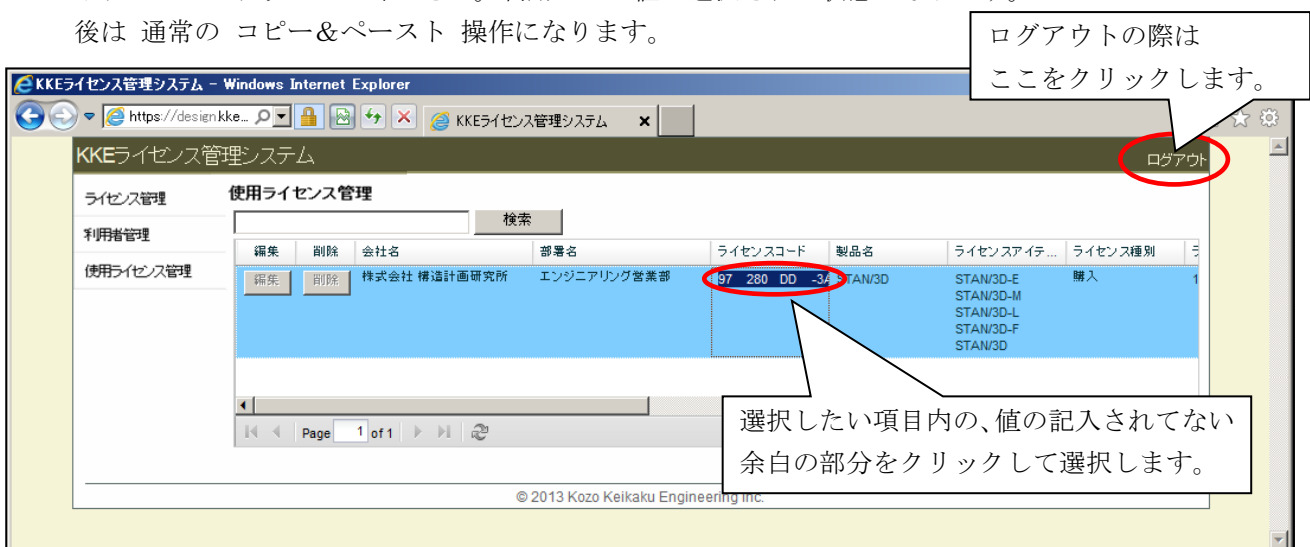
項 目	内 容
編集 (ボタン)	・ ユーザ側での操作はできません。
削除 (ボタン)	
会社名	・ ご購入時の情報より設定されます。
部署名	・ ご購入時の情報より設定されます。 (同じ会社でも部署単位で別登録が可能です。)
ライセンスコード	・ お持ちの製品のユーザ固有のコードです。ライセンス管理サーバーにて自動的に割り当てられます。プログラム起動時に必要になります。
製品名	・ ご購入の製品名になります。
ライセンスアイテム	・ オプション構成です。利用可能なオプションが表示されます。

項 目	内 容
ライセンス種別	・購入・お試し利用 のいずれかが表示されます。
ライセンス数量	・ご利用可能なライセンス数です。
有効期間（開始日）	・お試し利用の期間になります。期間が過ぎたライセンスはご利用になれません。購入の場合、何も表記はありません。
有効期間（終了日）	
技術サービス保守契約種別	・契約中・期限切れ・解約 のいずれかが表示されます。
技術サービス保守期間（開始日）	・技術サービス（保守）の期間になります。ライセンスの有効期間ではありません。
技術サービス保守期間（終了日）	
製品担当者氏名（漢字）	・この製品に関します 御社でのご担当者になります。 ご購入時の情報より設定されます。
製品担当者氏名（カナ）	
製品担当者メールアドレス	・上記のご担当者のメールアドレスです。ご購入時の情報より設定されます。
製品担当者情報発信	・上記のご担当者への情報発信の有無になります。ご購入時の確認情報により設定されます。ご了承が無い場合、「なし」で設定されます。
製品別営業担当	・この製品に関します 弊社 構造計画研究所での営業担当者です。 当製品に関しましては、表記の者にご連絡ください。 未設定の場合もあります。

5.1.1. この管理サイト内での操作について

- 当管理サイトの操作において、少々特殊な手順があります。
ライセンスコードや利用者コードを他の利用者に通知する場合等、表示しているテキスト情報の一部分を、コピー&ペースト される場面があるかと思えます。コピーの手順は以下になります。

- ① 該当する行を選択します。選択したい行内のどこでも結構ですので、クリックしてください。
選択された行は水色に変わります。
- ② 利用したい項目（下図の場合、ライセンスコードの項目）を選択します。この場合、選択したい項目内の値の記入されていない余白の部分（下部）をクリックしてください。項目が正しく選択されると、その外周に点線が表示されます。
- ③ 点線が表示されましたら、そのまま同じ個所（値の記入されていない余白の部分）をトリプル・クリックしてください。利用したい値が選択された状態になります。
後は 通常の コピー&ペースト 操作になります。



※ この特殊操作は上記の表部分に限ります。文字入力可能な個所は通常の選択方法で操作可能です。

5.1.2. この管理サイトからのログアウトについて

- 当管理サイトから抜け出すには、表示画面右上の「ログアウト」をクリックしてください。
- ログアウトして、最初の「ログイン画面」が表示されます。

5.2. 利用者管理

- 画面の左側のメニューから、「利用者管理」をクリックすると表示されます。
御社のライセンスをご利用になる方を全員、ここに登録してください。（登録方法は 5.2.2 利用者の追加方法を参照ください）
- ご注文書の情報により、製品の管理者になる方の 1 名様が、納品時に既に登録されています。
以降、ご利用者の追加登録はユーザ側にて行っていただきます。
- 各製品で固有のライセンスコード（ライセンス管理の項目に記載があります）と、ここの利用者コードの二つが揃うことで、その製品をその方がご利用可能になります。



- 「利用者管理」では以下の情報をご確認いただけます。なお、各情報はここの画面で編集が可能です。ご登録情報が変更になりましたら、この画面から御社での変更をお願い致します。

項目	内容
編集 (ボタン)	・このボタンで登録情報を修正できます。
削除 (ボタン)	・ご登録のユーザを削除できます。
会社名	・固定情報です。編集は不可です。
部署名	・固定情報です。編集は不可です。
利用者コード	・ご登録の個人に自動的に割り当てられるコードです。ご利用者を特定するコードです。当コードが無いとプログラムはご利用にはなりません。
利用者種別	・顧客管理者、一般ユーザ のどちらかを登録時に設定します。（変更可） 「顧客管理者」は製品の利用の他、このサイトへのログインが可能な利用者になります。（ID が付与されます） 「一般ユーザ」は製品の利用は可能ですが、この管理サイトへはログインできません。
氏名 (漢字)	—

項 目	内 容
氏名 (カナ)	—
メールアドレス	・ 情報発信を許可された場合、ここに記載されたアドレスに送信されます。
情報発信	・ 構造計画研究所からの、製品に関する情報発信の許可をご登録ください。
作成日時	・ この利用者を登録した日時です。ご登録時、自動的に設定されます。 最初のご登録者は、構造計画研究所のサポート係りによる登録となります。
作成者	・ この利用者を登録した人です。ご登録時、自動的に設定されます。 最初のご登録者は、構造計画研究所のサポート係りによる登録となります。
更新日時	・ この利用者を最後に修正した時間です。修正時に自動的に設定されます。 修正の度にこの記載も入れ替わります。
更新者	・ この利用者を最後に修正した人です。修正時に自動的に設定されます。 修正の度にこの記載も入れ替わります。
固有コード ／緊急コード発行数	・ 利用者がライセンスを取得時に使用していたパソコン固有のコードを、自動的に発行します。同じ利用者が複数のパソコンで Web 認証をした場合、パソコンの数だけ登録されます。(パソコン数だけ行が増えます。)。 ・ またそれぞれのパソコンにおいて利用者が発行申請をした緊急コードの数が表示されます。(緊急コードに関しましては後に記載があります。)
最終発行緊急解除コード	・ 最後に発行した緊急コードがここに記載されます。 (緊急コードに関しましては後に記載があります。)

5.2.1. 利用者種別について

顧客管理者：製品の利用の他、このサイトへのログインが可能になります。(ログイン ID が付与されます)

顧客管理者として設定された利用者は、サイトへログインできますので 他の利用者の追加や削除、現在誰が利用しているかを確認できます。

納品時に既に登録されている 1 名様は、最初から「顧客管理者」に設定されています。

顧客管理者は何名でも設定できます。(ID とパスワードは各人で異なる必要があります。)

一般ユーザ：製品の利用は可能ですが、この管理サイトへはログインできません。誰が利用しているのかの確認や、ライセンスコードや利用者コードを忘れた時の確認も「顧客管理者」に依頼する必要があります。

※ 顔を見渡せる数人のチームでライセンスを共有される場合、全員を管理者にするのも良いかと思います。

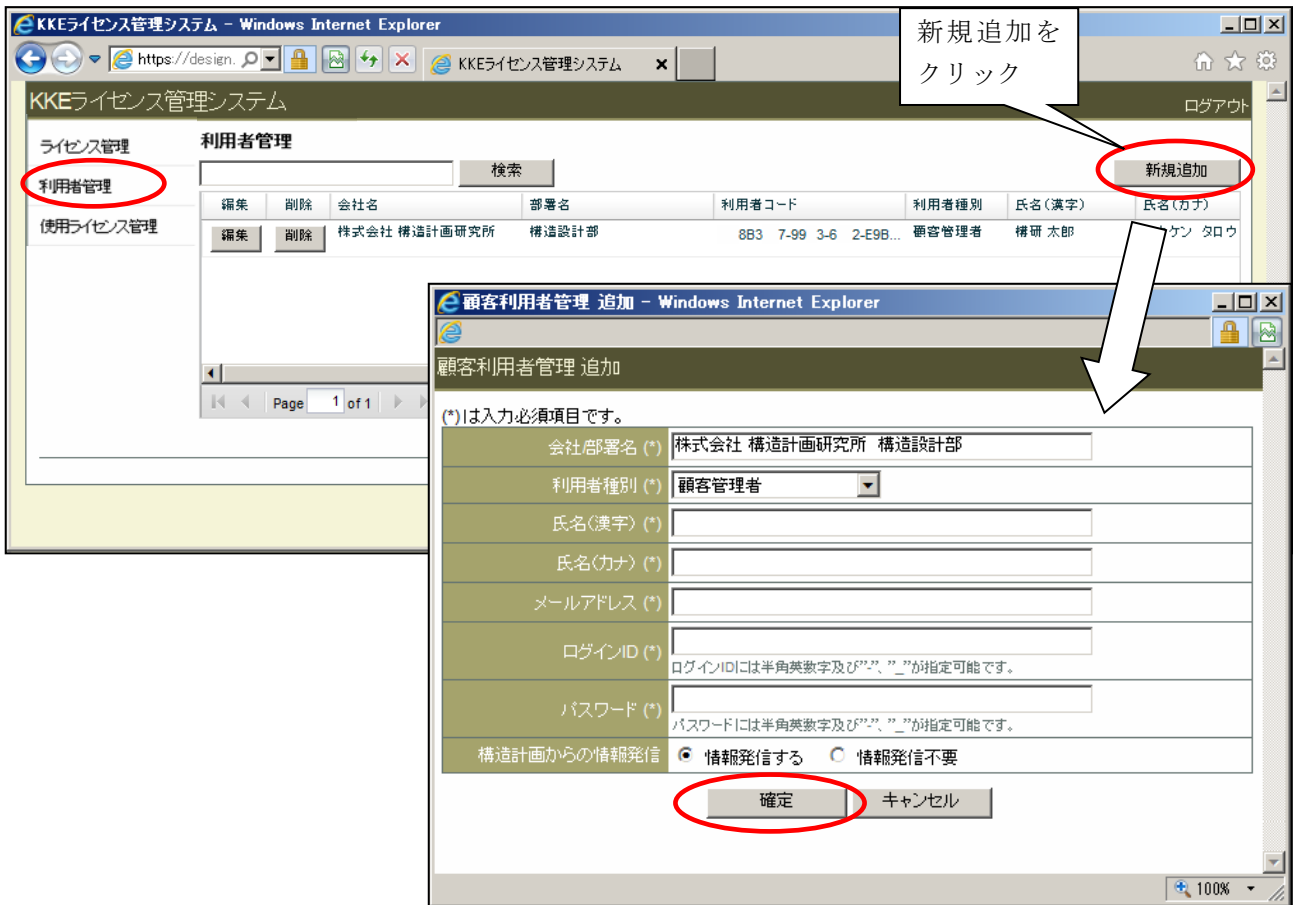
※ 現場での利用等、特定の利用者に管理権限を与えたくない場合、一般ユーザの設定をご利用ください。

※ 個人名、メールアドレス、構造計画研究所からの情報発信への許可の有無、はこのサイト内で扱われる個人情報になります。

「最初の入力を個人で行うか、管理者の方が一括で行うか」または、「登録情報の変更は利用者自身以外で行うことを許容するか」等、個人情報の取り扱いに関しましては、御社内での情報扱いルールに則して行ってください。

5.2.2. 利用者の追加方法

- ・製品の管理者になる方の1名様は、納品時に既に登録されています。2名様以降は、以下の方法にて利用者の追加を行ってください。



※ ○ : 入力可 × : 入力不要

項目	顧客 管理者	一般 ユーザ	内 容
会社/部署名	○	○	・ 固定情報です。編集は不可です。
利用者種別	○	○	・ 顧客管理者、一般ユーザ のどちらかを選択してください。
氏名 (漢字)	○	○	—
氏名 (カナ)	○	○	—
メールアドレス	○	×	・ 利用者単位で異なるアドレスでなくてはなりません。 ・ 同じメールアドレスを共有して複数の利用者を登録することはできません。
ログイン ID	○	×	・ 半角英数字、8文字以上で設定してください。
パスワード	○	×	・ 自動的にログイン ID、パスワードの重複チェックが行われ、重複している場合にはメッセージが表示されます。
構造計画からの 情報発信	○	×	情報発信する / 情報発信不要 を選択してください。

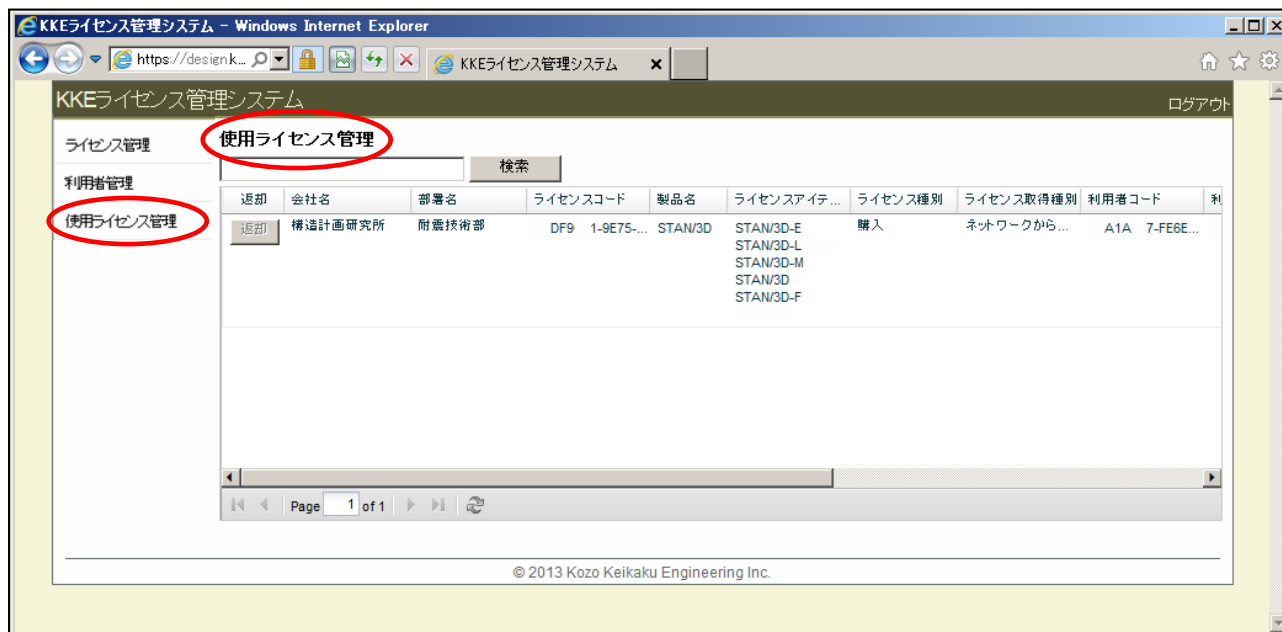
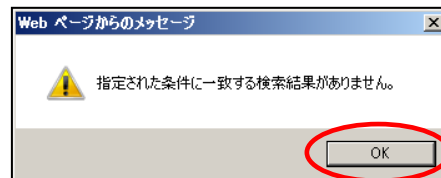
- ・ 表示された追加用の別画面に必要な情報を入力の上、[OK] をクリックすれば、利用者が追加されます。

－ 利用者を追加したら －

- ・管理者の方が利用者を追加されましたら、「ライセンスコード」と共に追加した「利用者コード」を該当の方に通知してください。その方が 両方のコードを入手することにより、プログラムの利用が可能になります。

5.3. 使用ライセンス管理

- 画面の左側のメニューから、「使用ライセンス管理」をクリックすると表示されます。現在利用中のライセンスが表示されています。この画面での操作はありません。情報の確認のみになります。
- 管理サイト内におきまして「使用ライセンス画面」に移った時点で、ライセンスが一つも利用されていない場合、右のメッセージが表示されます。確認だけですので、[OK] をクリックしてください。



- 「使用ライセンス管理」では以下の情報をご確認いただけます。なお、ライセンスの強制解放 等の操作はユーザ側ではできません。必要な状況になりましたら、構造計画研究所までお知らせください。

項目	内容
返却 (ボタン)	・ユーザ側での操作はできません。
会社名	・ご購入時の情報より設定されます。
部署名	・ご購入時の情報より設定されます。 (同じ会社でも部署単位で別登録が可能です。)
ライセンスコード	・お持ちの製品のユーザ固有のコードです。ライセンス管理サーバーにて自動的に割り当てられます。プログラム起動時に必要になります。
製品名	・ご購入の製品名になります。
ライセンスアイテム	・オプション構成です。利用可能なオプションが表示されます。
ライセンス種別	・購入・レンタル・お試し利用 のいずれかが表示されます。
ライセンス取得種別	・通常のライセンス取得の場合、「ネットワークからの取得」と表示されます。 当日限定ライセンス (ライセンスの持ち出し) にて取得された場合、「当日限定解除コード作成画面から取得」と表示されます。

項 目	内 容
	(当日限定解除コード に関しましては後に記載があります。)
利用者コード	・現在 このライセンスを利用されている利用者の利用者コードです。
利用者氏名	・現在 このライセンスを利用されている利用者のお名前です。
固有コード	・現在 このライセンスを利用されている利用者のパソコン固有のコード です。同じ利用者でも、利用中のパソコンが異なるとコードも異なります。
全ライセンス数	・この製品に関しまして、御社でご利用可能なライセンス数です。
残利用可能数	・この製品に関しまして、現在 利用可能なライセンス数です。 同時の利用者が増える度に、残ライセンス数は更新されます。
ライセンス取得日時	・現在 利用されているライセンスが取得された時間です。

※ライセンスの利用者がいないが、「利用ライセンス管理」に履歴が残っているという状況は、何らかの原因（OS やパソコンの不意なシャットダウン等）により取得ライセンスが正常に解放されなかった場合と考えられます。ユーザ側ではライセンスの強制解放は行えません。この場合、構造計画研究所のサポート窓口にご連絡ください。

6. 当日限定ライセンスの利用方法

Web 認証版の通常の利用方法におきましては、ネットワーク環境への常時接続が必要です。実行するプログラムは、ライセンスの取得時と返却時、そして稼働中もあるタイミングで「構造計画研究所 Web 認証サーバー」と通信を行っています。

しかし、現場にてノートパソコン等で作業を行う場合 等、ネットワーク環境に接続できない環境での利用の場面もあるかと思えます。この時にご利用いただくのが「当日限定ライセンス」になります。

「当日限定ライセンス」のご利用には、「当日限定解除コード」が必要です。これを取得されますと、取得されたパソコンでは、その日一日（その日の 24 時迄）は、ネットワーク環境に接続がなくても、プログラムを利用することが可能になります。

ただ、「当日限定ライセンス」のご利用は、通常のライセンス取得と同等ですので「構造計画研究所 Web 認証サーバー」側ではライセンスは消費された状態になります。その日一日、ライセンスを持ち出すといったイメージです。よって持ち出されたライセンス分は、その日一日は他の方がご利用になれません。他の方のご利用状況をご確認の上、ライセンスを持ち出してください。

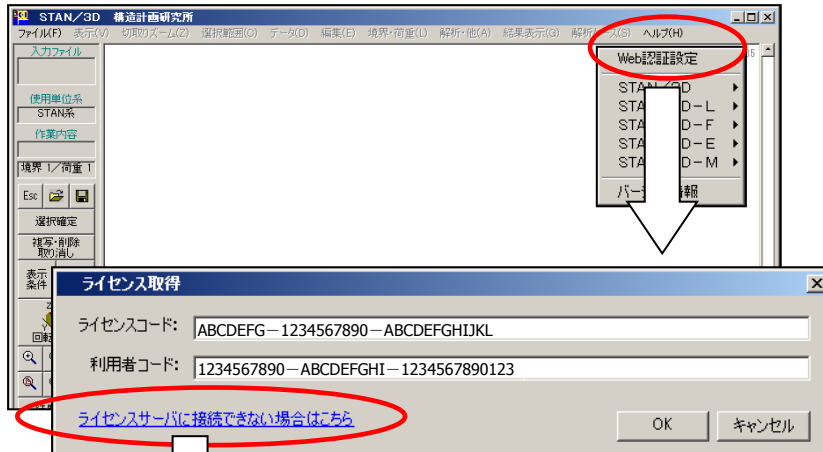
「当日限定ライセンス」のご利用におきましては、ライセンスの返却の必要はありません。ライセンスを取得されたパソコン側では、その日の 24 時で ライセンスは自動的に無効になります。また、「構造計画研究所 Web 認証サーバー」側では、その日の 24 時で 取得された分のライセンスは自動的に利用可能に戻ります。

（このライセンスが取得される際に、プログラムは ユーザがご利用のパソコン内の時計と、「構造計画研究所 Web 認証サーバー」内の時計の照合を行います。時間差が大きい場合、ライセンスは発行されません。また、同ライセンスの取得後もパソコン内の時計の時間が大きく変更されますと、ライセンスは無効になります。通常の操作ではパソコン内の時間が大きく変わることはありませんので、ご安心ください。）

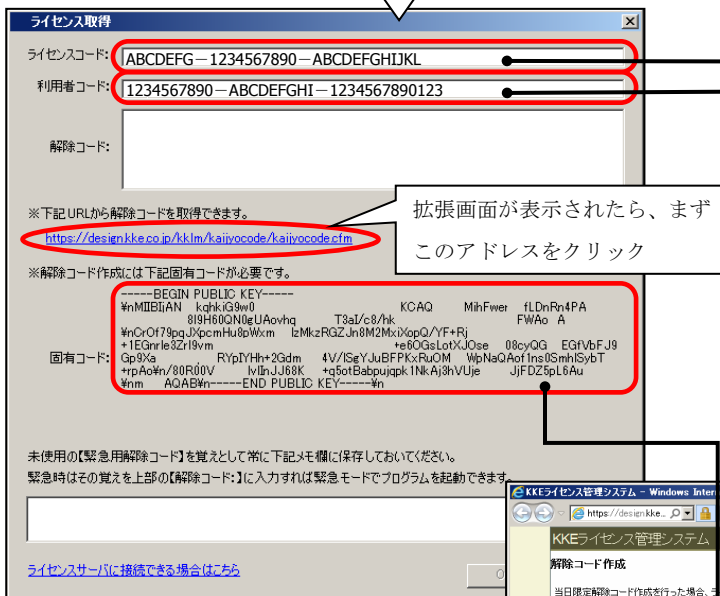
- ・持ち出せるライセンスは「当日限定ライセンス」しかありません。日数を指定した持ち出しはできません。よって数日に渡り持ち出したい場合でも、日が変わる度に ネットワーク環境に接続して持ち出しの操作を行う必要があります。
- ・ライセンスの取得した日の 24 時で、持ち出したライセンスは自動的に無効になります。よって、持ち出した時間が遅いと、短時間しか有効でないライセンスになります。ご注意ください。
- ・「当日限定ライセンス」で持ち出されたライセンスを、そのライセンスが有効な時間内に 認証サーバー側に戻すことはできません。これは、構造計画研究所 サポート係りにお問合せいただきましても、弊社にて操作することは出来ません。予めご了承ください。

6.1. 当日限定ライセンスの利用方法

- STAN を起動してください。(通常の Web ライセンスを取得します。)
プルダウン・メニューより、[ヘルプ] → [Web 認証設定] を選択します。「ライセンス取得」画面が表示されます。表示された画面の下側に「ライセンスサーバに接続できない場合はこちら」という青い表記がありますので、それをクリックします。拡張画面に切り替わります。



[拡張画面]

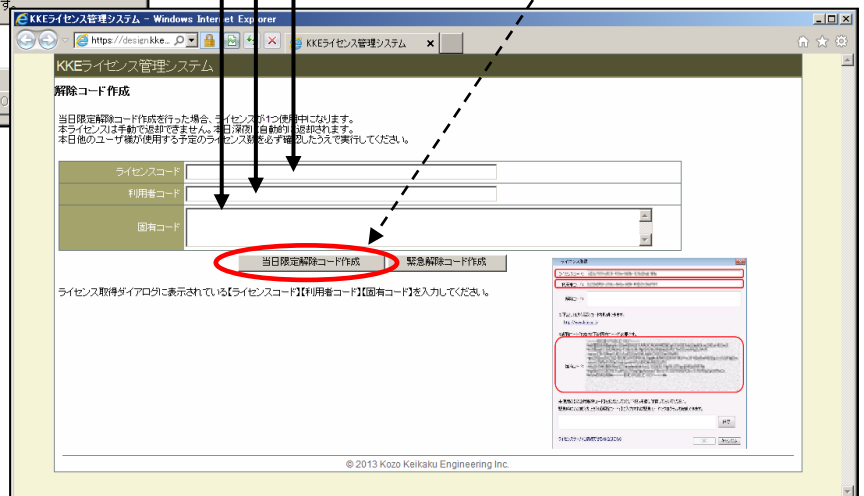


拡張画面が表示されましたら、画面中央のアドレスをクリックします。標準のブラウザで「解除コード作成」サイトが表示されます。そこにライセンスコード、利用者コード、固有コードをコピー＆ペーストで貼り付けてください。

(分りにくいですが、固有コードも文字情報として選択可能です。)

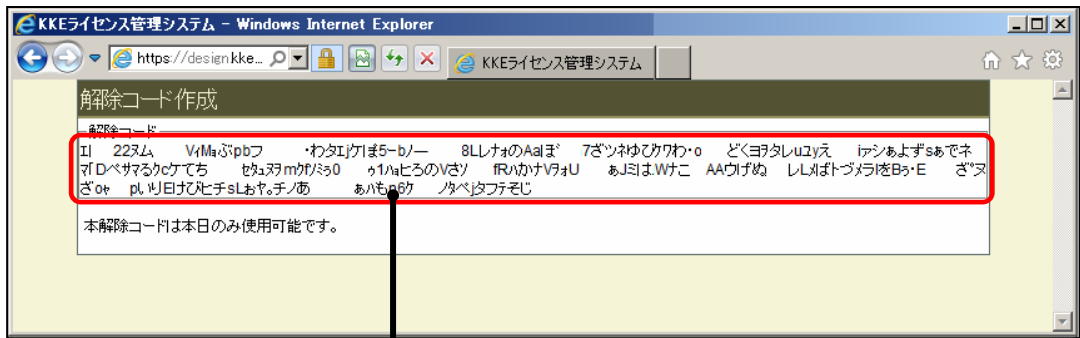
3つの情報を貼り付けましたら、**[当日限定解除コード作成]** のボタンをクリックします。

[解除コード作成]



- 3つのコードが正しければ、Web ライセンス管理サイトの表示内容が解除コードに変わります。

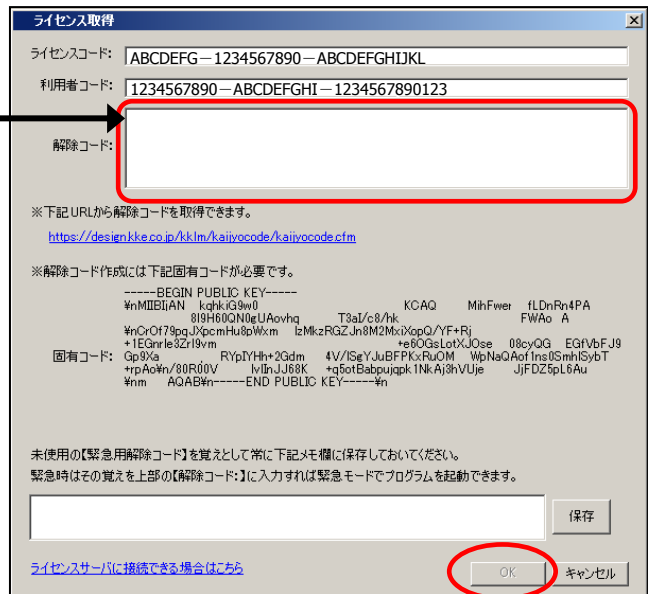
[解除コード作成]



- 「解除コード作成」サイトに表示されている解除コードを コピー&ペースト でライセンス取得画面の解除コードの項目に貼り付けます。すると [OK] ボタンがクリック可能になりますので、クリックします。以上で取得完了です。

「解除コード作成」サイトは、表示画面の右上の [X] をクリックしてブラウザを閉じてください。

[拡張画面]



- STAN の画面に戻ります。その時のライセンスは 既に通常ライセンスから当日限定ライセンスに切り替わっています。次に STAN を立ち上げるときは、ネットワーク環境は不要です。同日の 24 時迄は、そのパソコンにて何度でも STAN は起動可能です。

※当日限定ライセンスの取得中、Web 認証版のライセンスを管理するサイトにて利用中のライセンスを 確認すると、ライセンス取得種別 の項目は「当日限定解除コード作成画面から取得」と表示されています。この記載は、同日の 24 時に無くなり、ライセンスは解放されます。当日限定ライセンスの強制解放は出来ませんので、予めご了承ください。

※当日限定ライセンスの取得は、Web ライセンスがある場合のみ可能です。

Web ライセンスを他の利用者が取得されていて、利用可能 Web ライセンスが残っていない場合は取得できません。

7. 緊急用ライセンスの利用方法

Web 認証版の通常の利用方法におきましては、ネットワーク環境への常時接続が必要です。しかしながらインターネット環境は完全に保証されたインフラではありません。何らかの原因でインターネット環境が寸断された場合、またはハード的な要因でインターネット環境が利用不可になった場合等、Web 認証を行うことはできません。このような時にご利用いただくのが「緊急用ライセンス」です。

緊急用ライセンスの利用には「緊急解除コード」が必要です。（表記スペースの関係で「緊急コード」と表記されている箇所もありますが、同じものになります。）

取得する手順は、前述の「当日限定解除コード」とほぼ同じですが、両者には大きな違いがあります。まず、「当日限定解除コード」は取得した日しか有効ではありませんが、「緊急解除コード」は取得後、保管していただくコードになります。保管中は有効なライセンスとはなりません。緊急時の操作を行った時に初めて有効になり、その操作を行った日から3日間有効になります。逆に言えばその操作を行わない限り有効にはなりませんので、緊急時の保険として常時保管しておけるライセンスとなります。

もう一つの違いは、「当日限定解除コード」は取得時にお持ちのライセンスが消費されますが、「緊急解除コード」は保管用として取得する性格上、取得されてもライセンスは消費されません。

Web 認証版のライセンスを管理するサイトには利用者の情報を管理する「利用者管理」のページがあります。ここには「緊急コード発行数」という項目があります。つまり、緊急コードを何回発行したかの履歴が残る仕組みになっています。

Web 認証版をご利用になられて、最初にしていただきたい作業が「緊急解除コード」の保管作業です。

緊急時が発生し、その緊急解除コードを利用した場合、2回目の発行は出来なくなります。2回目の発行は構造計画研究所 サポート係りにご連絡いただければ、2回目の発行が可能になります。ご連絡いただきましたタイミングで、緊急時の状況をサポート係りにて確認させていただきます。

緊急解除コードはあくまでも緊急用のものになります。このコード発行が頻繁な場合、弊社 営業よりご連絡をさせていただきます場合があります。その際はご了承ください。

同じ利用者（利用者コード）におきましても、ご利用のパソコンにより「緊急解除コード」は異なります。念のため、「緊急解除コード」はご利用のパソコンの数だけ、各パソコンに保管しておいてください。

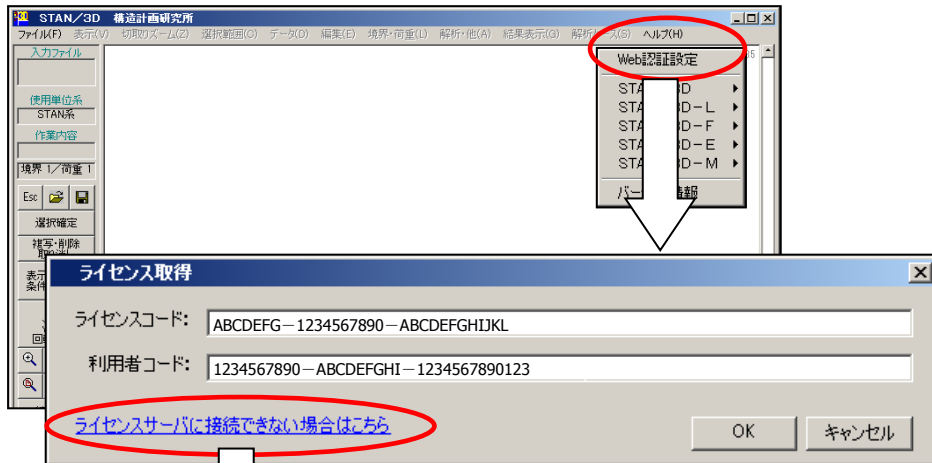
異なるパソコンでそれぞれ取得しても、2回目のカウントにはなりません。前述の2回目の発行制限は、同一パソコンでの制限となります。

STAN プログラムのアップデートを行った場合、旧プログラムで発行した緊急解除コードは無効となります。アップデートをした PC では、再度、緊急解除コードの発行・保管を行ってください。

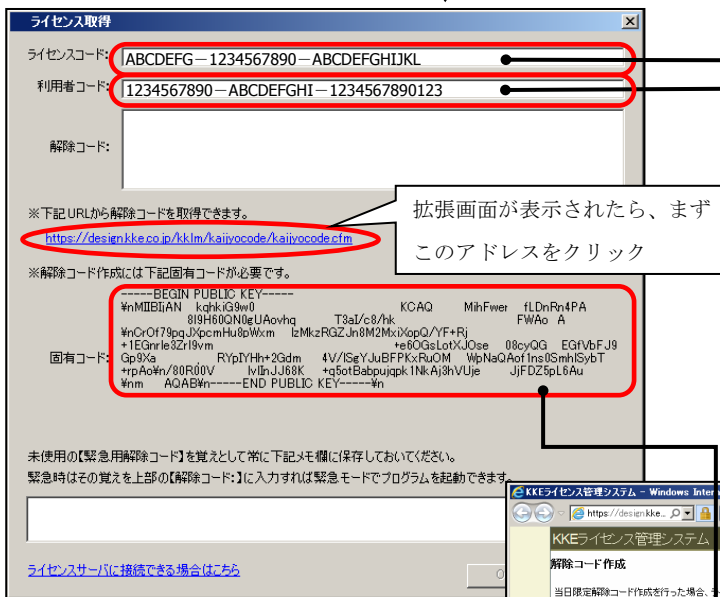
7.1. 緊急解除コードの保管方法

- ・STAN を起動してください。(通常の Web ライセンスを取得します。)

プルダウン・メニューより、[ヘルプ] → [Web 認証設定] を選択します。「ライセンス取得」画面が表示されます。表示された画面の下側に「ライセンスサーバーに接続できない場合はこちら」という青い表記がありますので、それをクリックします。拡張画面に切り替わります。



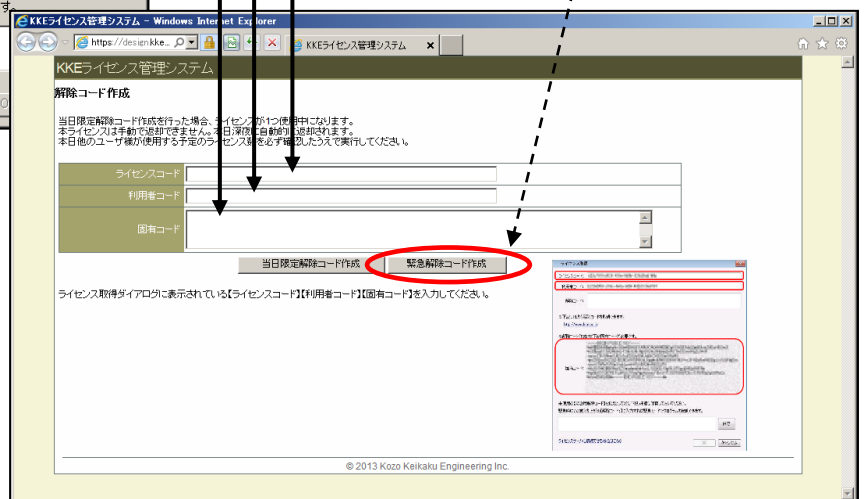
[拡張画面]



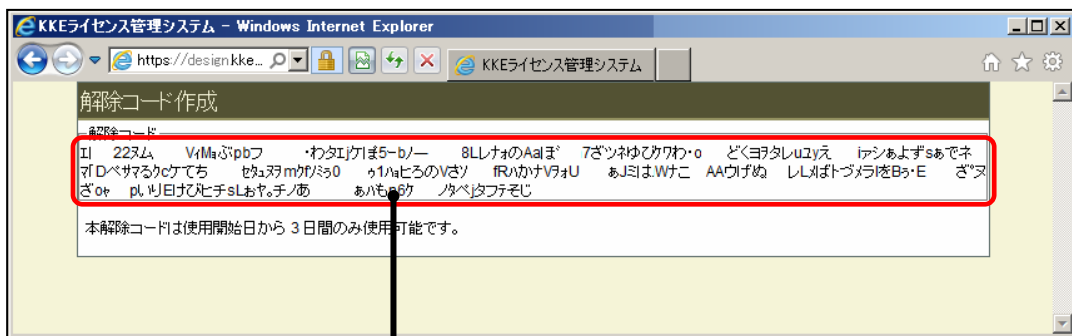
拡張画面が表示されましたら、画面中央のアドレスをクリックします。標準のブラウザで「解除コード作成」サイトが表示されます。そこにライセンスコード、利用者コード、固有コードをコピー & ペーストで貼り付けてください。(固有コードも文字情報として選択可能です。)

3つの情報を貼り付けましたら、**[緊急解除コード作成]**のボタンをクリックします。

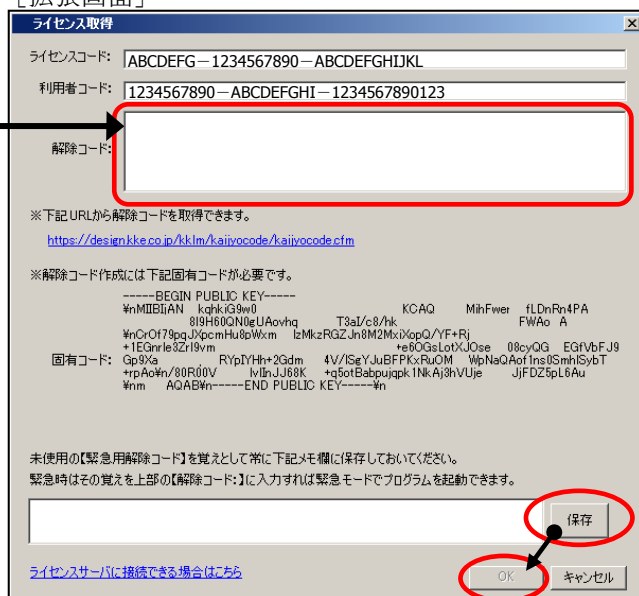
[解除コード作成]



- 3つのコードが正しければ、Web ライセンス管理サイトの表示内容が解除コードに変わります。



[拡張画面]



- 「解除コード作成」サイトに表示されている解除コードを コピー&ペースト でライセンス取得画面の最下段の白い部分に貼り付けます。その後 [保存] ボタンをクリックします。(このクリックを忘れないでください。) 以上で保存 完了です。そのまま、一番下の [OK] ボタンをクリックしてください。

「解除コード作成」サイトは、表示画面の右上の [×] をクリックしてブラウザを閉じてください。

- STAN の画面に戻ります。以上の作業は、「緊急解除コード」の保管だけです。利用には至っていません。開かれている STAN のライセンスは、最初に起動した時に取得した 通常の Web ライセンス の分です。STAN の作業が無い場合、そのまま STAN を終了してライセンスを解放して下さい。

- ※ 保存した「緊急解除コード」は、この画面を表示し直しても消えません。この画面でメモとして保管し続けてください。ご利用方法は以降のページからになります。
- ※ 緊急コードの取得は、Web ライセンスがある場合のみ可能です。
Web ライセンスを他の利用者が取得されていて、利用可能 Web ライセンスが残っていない場合は取得できません。

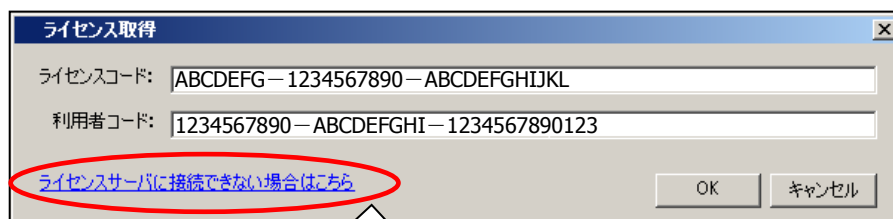
7.2. 緊急解除コードの利用方法

ここでの操作は、インターネット環境の寸断等で、Web 認証ができなくなった場合等の緊急時に起動するための手順です。緊急解除コードの発行には制限があります。ご注意ください。

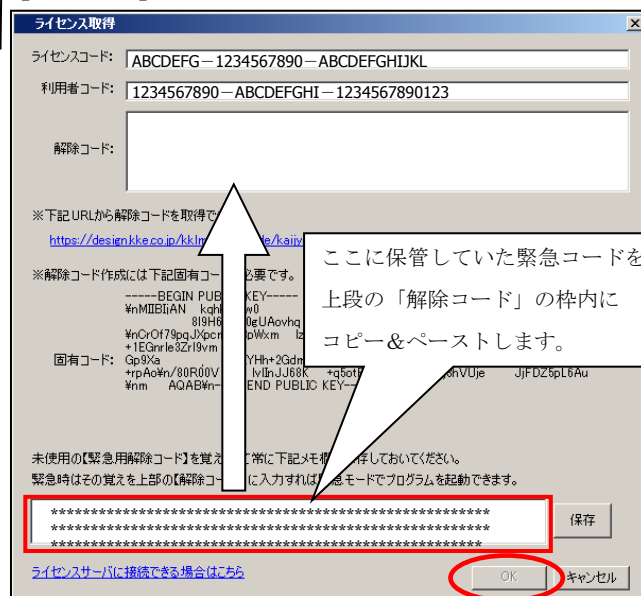
- ・STAN を起動してください。とは言っても、緊急時にプログラムは起動しないと思います。プログラムを起動しても Web 環境に接続できない場合、下図の画面が立ち上がります。
- ・下図の画面が立ち上がりましたら、ネットワークケーブルは接続されているか、もしくは他のメッセージが出ていないかの確認は行ってください。構造計画研究所 サポート係りの運営時間内でしたら、問い合せいただきまして、ご確認いただく手段もございます。

Web 環境の不備が明白な場合等、以下の緊急手順を行ってください。

- ・表示された画面の下側に「ライセンスサーバーに接続できない場合はこちら」という青い表記がありますので、それをクリックします。拡張画面に切り替わります。



[拡張画面]



- ・拡張画面（右図）が表示されましたら、前ページの手順で保管していた、最下段に記載されている「緊急解除コード」を上段の「解除コード」の部分にコピー＆ペーストします。
（ライセンスコード&利用者コードは、表記のままです。何も修正しません。）
すると [OK] ボタンがクリック可能になりますので、クリックします。

- ・STAN の画面が表示されましたら 認証成功です。そのまま STAN シリーズをご利用になれます。
「緊急解除コード」で認証が成功した日を含めて 3 日間、全く外部に通信することなく STAN は起動し続けます。この 3 日間で Web 環境が正常に戻りましたら、再び通常の Web 認証版としてご利用ください。一度利用した「緊急解除コード」は以降、有効にはなりません。「緊急解除コード」の利用後、再びこのコードを保管される場合、構造計画研究所 サポート係りにご連絡いただく必要があります。